

人文・社会科学系 研究助成9件決定

大幸財団

大幸財団（名古屋市東区）は本年度の人文・社会科学系学術研究助成事業で九件、総額一千万円の助成を決めた。県内の十六大学から応募があり、二十八件から選考した。

◇助成を受ける研究は次の通り（かっこ内は代表研究者）

子どもの主体的な学びを促す理家（りか）融合型SDGs教育プログラム開発（大鹿聖公・愛知教育大教育学部教授）▽知的理解に基づく手描きスケッチからの三次元CGモデル生成手法の開発とコンテンツへの応用（水野慎士・愛知工業大情報科学部教授）▽付加価値税制と経済成長―政府統計調査を用いた日印比較―（鈴木崇文・愛知淑徳大ビジネス学部講師）▽低学年「生活」の教育課程に関する日台比較研究（白井克尚・愛知東邦大教育学部准教授）▽人生の最終段階における医療に関する自己決定権と法制度設計―刑事法的視点から（緒方あゆみ・中央大法務総合教育研究機構教授）▽地方都市における歴史文化観光地域の現状と課題―持続可能な観光地域の成立過程（末田智樹・中部大文学部教授）▽集約型都市構造の実現に向けた都市計画手法に関する基礎的研究（浅野純一郎・豊橋技術科学大学院工学研究

科教授）▽リスクベースの社会における産業ランドスケープを活用した主体的まちづくり活動に関する研究―英国Saltscape Projectを対象として―（山出美弥・名古屋大学院環境学研究科助教）▽ヴァレリーの詩集「旧詩帖（きゅうしちよう）」の電子校訂とデータベースの構築（鳥山定嗣・名古屋大学院人文学研究科准教授）